

学校給食における有機農作物の活用支援事業について

保護者各位

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

さて、群馬県では、農業の持続的発展と食料の安定供給のため、化学肥料・化学農薬に依存しない有機農業を推進しています。

前年度に引き続き群馬県農政部技術支援課の事業として、学校給食への有機農作物利用拡大のモデル校として、県内の特別支援学校に県内の有機農産物を使用した給食の提供が行われます。

1. 実施月 12月
2. 実施内容 12月中は、全て有機栽培米を使用
有機農作物を利用した給食の提供
3. 費用 割高な有機農作物を使用するため、一般農作物との差額
については、補助が支給されます。
有機農作物使用による給食費の値上げはありません。

以上

令和6年11月 1日

群馬県立高崎特別支援学校
校長 池田 克弘



食卓に *Organic*

オーガニック

それは
環境にやさしい暮らしの
はじまり



有機農業って？

化学的に合成された肥料や農薬を使わずに作物を育てる農業のことです。オーガニックという言葉が最近よく聞くようになりました。オーガニックとは「有機栽培」を意味します。

有機農業が地域に広がるメリット？

有機農業は、生物多様性の保全や地球温暖化の防止等に高い効果を示すことが明らかになってきており、SDGsの目標達成にも貢献する「環境にやさしい農業」として注目されています。

マークが目印！ 有機農業で生産された農産物

皆さんが野菜や米などを買うときに参考となるのが有機JASマーク。認証機関の厳しい審査に合格した生産者がこのマークを使用できます。



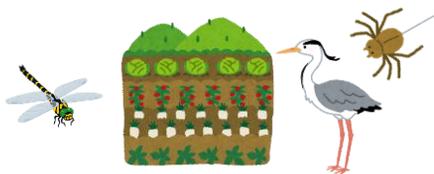
群馬県

有機農業

- 化学的に合成された肥料や農薬を使用しない、遺伝子組換え技術を利用しない、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する方法で行われる農業です。
- 食料を生産するだけでなく、生物多様性の保全や地球温暖化の防止等の多面的機能を有しています。
- 国では、令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」において、2050年までに耕地面積に占める有機農業の割合を0.6%（令和2年度）→25%（100万ha）に拡大することを目指しています。



原則使用しない



生物多様性の保全

有機農産物

- 「有機農産物の日本農林規格（有機JAS規格）」の基準により生産された農産物です。
- 認証機関の厳しい審査に合格した生産者が有機JASマークを使用し、「有機農産物」「オーガニック」等と表示することができます。



有機JASマークは信頼の証！



有機農業とSDGsの関係

- 有機農業は、SDGs（国際社会共通の目標）に掲げる17の目標のうち、6の目標と密接に関係しています。



持続可能な農業システムは持続可能な食料生産を促進する



化学肥料・化学農薬の使用削減による水質汚染防止等が人々の健康や福祉につながる



化学物質の水路への流出防止につながる



有機食品の購入が持続可能な食料生産への貢献につながる



適切な土壌管理が気候変動の抑制につながる



生態系の維持・生物多様性に貢献できる

※農林水産省「有機農業をめぐる事情（令和4年7月）」をもとに群馬県技術支援課で作成

有機農業をさらに詳しく

お問い合わせは

群馬県農政技術支援課グリーン農業推進係
TEL 027-897-2972 FAX 027-221-8681
E-mail shienka@pref.gunma.lg.jp

農林水産省HP



群馬県HP

